

## 在外邦人の「声」を活かす

「ゆいグローバルネット」は、世界各地で生活する日本人の「声」を活かした包括的支援を展開すべく、国内外の邦人団体・専門家のつながりを広げ、交流の場となることを目指している。

ゆいグローバルネット 共同代表

大橋ひとみ／圖子田優子

ゆいグローバルネットは日本在住の共同代表——井上孝代(明治学院大学名誉教授)、福永佳津子(海外生活カウンセラー)、阿部薫(元バンコク日本人学校スクールカウンセラー、公認心理師)、大橋、圖子田の5人を中心に、国内外の公認心理師・医師・社会福祉士などによって、現地の情報収集・関係者のネットワークング・各種イベントの企画運営・情報発信等を行ってきた。

ここでは、立ち上げから2年目になり具体化した活動を紹介する。

### 多様なニーズに応えるために

インターネットの普及により、メディアや専門家ではない一市民から、SNSなどを通じた発信が当たり前となっている。世界各地で生活する在外邦人の体験や、支援が必要な実態について知る機会も増えつつある。

海外での日本人の生活には、子育てや教育の問題、医療・保健・福祉対策、各種手続き、メンタルヘルスの問題など多岐にわたるニーズに応える包括的な支援が求められる。一方で、滞在国の文化や社会制度・情勢、邦人コミュニティの規模は異なる。また永住者と海外駐在員・帯同家族など在留のタイプによって必要とされる支援は違ってくる。そのため地域コミュニティの特性に沿うかたちで、現地の情報共有を担う互助システムが各地に存在する。これらの邦人コミュニティのニーズに即して、多様な課題を

抱える在外邦人や日系人を支援するには、日本人会やボランティア支援団体などが、それぞれの文化風土に応じたきめ細かなネットワークで、相互の情報交換や学びを通して有機的に結ばれていることが望まれる。

このような背景から、当団体では、以下のようなポイントを大事にした非営利活動を行っている。

- 当該地に生活する邦人の「声」を収集、紹介し、現地の状況を把握しニーズに応じた包括的支援を目指す(被支援者・支援者の枠を取り払ったチームワーク)。
- 既存の支援団体とのつながりを広げ、「交流の場」となるネットワークを構築する。
- インターネット時代にふさわしいハイブリッドな方法を活用する。
- 各地域の専門的支援者(心理職、医師、教職、看護職、ソーシャルワーカーなど)の人材のネットワーク化を行い、講演会や研修会などのイベントを協働企画・実施する。



2022年3月24日開催講演会のスクリーンショット